

ブルーレイディスク™/ DVDプレーヤー

取扱説明書


はじめの接続や準備

再生

設定

その他

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよく読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

機銘板は、本機の下部に表示してあります。



警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

2～6ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

7ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- 1 電源を切る
- 2 電源プラグをコンセントから抜く
- 3 お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指のケガに注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

→ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



禁止

本機の上に重たいものや不安定なものを置かない

感電や故障の原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のある場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。



禁止

内部に水や異物を入れないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機や AC アダプターの上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。

→ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

本機は室内専用です

乗物の中や船舶の中などで使用しないでください。

5,150 ~ 5,350 MHz 帯は屋内使用に限定されます。



指示

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

→ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

付属以外の AC アダプターを使わない

火災や感電の原因となります。



禁止

本体や AC アダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。



接触禁止

本機は国内専用です

交流 100V の電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。



指示



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

可燃ガスエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。



禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。ぬれ手禁止



ぬれ手禁止

通電中、本体や AC アダプターに長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密着して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



禁止

大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くとときにご注意ください。



禁止

→ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

安定した場所に置く

水平で丈夫な場所に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。



禁止

本体の前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。



禁止

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようご注意ください。



指のケガに注意

コード類は正しく配置する

AV ケーブルや電源コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。十分に注意して接続、配置してください。



禁止

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

移動させるとき、すべての AV ケーブルや電源コードを抜く

AV ケーブルや電源コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



指示



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く



電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。プラグをコンセントから抜く

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない



禁止

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない



禁止

電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機の離着陸時には、機内でワイヤレス機能を使用しない



禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱によるけがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。



接触禁止

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



指示

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

- 万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。



禁止

電池を火の中に入れてない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがやけがの原因となることがあります。



禁止

電池を火のそばや直射日光のあたるところなど、高温の場所で使用、保管、放置しない

破裂したり、液が漏れたりして、けがやけがの原因となることがあります。



禁止

注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがやけがの原因となることがあります。

- マンガン電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。



禁止

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがやけがの原因となることがあります。

- 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



指示

使い切ったときや、長期間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがやけがの原因となることがあります。



指示

リモコンの電池フタを開けて使用しない

リモコンの電池フタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

- マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。



指示

使用上のご注意

ACアダプターは、コンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、異常な音やにおい、煙がでたときはすぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。本体の電源ボタンを切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

付属の電源コードセットについて

付属の電源コードセットは本機専用です。他の電気機器では使用できません。

本機の起動と終了について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源入切時に電源ボタンを押してから、実際に起動するまでと実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかります。

電源が切れる前にコンセントから電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起す場合があります。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- 振動の多い所。
- 直射日光が当たる所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所、極端に暑い所。
- 本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所。

また、本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。火災の原因となります。

設置場所を変えるときは

BDやDVD、CDを入れたまま本機を動かさないでください。ディスクを傷めることがあります。

配線／接続作業を行うときは本機の電源を切り、本機の電源が切れていることを確認してから電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

結露（露つき）について

結露とは空気中の水分が冷えた金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合
電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れていない場合
電源を入れなくて、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合
電源を入れたまま放置してください。

結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

再生を開始するときは

音量を必ず下げてください。初めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損させたり、ヘッドホンで聞いている場合には耳を傷めるおそれがあります。

映画や音楽を楽しむときは

映画や音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

クリーニングディスクについて

レンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

HDMI 出力端子につなぐときのご注意

次のような場合、HDMI 出力端子やコネクタを破損させるおそれがありますのでご注意ください。

- ケーブルを差し込むときは、本体後面の HDMI 出力端子とコネクタの形や向きに注意してください。



コネクタが逆曲がっている

- 本機を移動させるときは、必ず HDMI ケーブルを抜いてください。



- HDMI ケーブルを抜き差しするときは、コネクタをまっすぐ持ってください。コネクタをねじ曲げたり、HDMI 出力端子に強く押しこんだりしないでください。

3D 映像の視聴について

3D 映像の視聴中に目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出る場合があります。3D 映像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D 映像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。

本機に接続する機器や本機で再生するブルーレイディスクの取扱説明書やご注意などもあわせてご覧ください。最新情報については、ホームページ (<https://www.sony.jp/support/>) をご覧ください。なお、お子さま(特に6歳未満の子)の視覚は発達段階にあります。お子さまが3D 映像を視聴する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子さまが上記注意点を守るよう監督してください。

著作権保護について

ブルーレイディスク™ や DVD では、著作権保護技術が採用されています。AACS (Advanced Access Content System) や CSS (Content Scramble System) と呼ばれる著作権保護技術により、再生やアナログ出力に制限がかけられます。AACS の団体が本製品の購入日以降に制限に関する規定を制定または改訂することがあるため、本製品の操作および制限の内容は購入日により異なる場合があります。

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許認可コピーの利用を制限しています。無許認可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

著作権／商標について

- 本機は、無許諾の BD/DVD (海賊版等) の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- Java は、Oracle およびその関連会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTS の特許については、<http://patents.dts.com> をご参照ください。Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 2.0+Digital Out is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.



- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing

Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

- “DVD ロゴ” は DVD Format/Logo Licensing Corporation の商標です。
- “DVD+RW,” “DVD-RW,” “DVD+R,” “DVD-R,” “DVD ビデオ,” “スーパーオーディオ CD,” および “CD” のロゴは商標です。
- Blu-ray Disc™、Blu-ray™、BD-LIVE™、BONUSVIEW™、及びロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。
- Blu-ray 3D™ 及び Blu-ray 3D™ ロゴは、Blu-ray Disc Association の商標です。



- “ブラビアリンク” および “BRAVIA Link™” は、ソニー株式会社の商標です。
- 本機は Fraunhofer IIS および Thomson の MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- この製品は Verance Corporation (ベランス・コーポレーション) のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第 7,369,677 号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。Cinavia は Verance Corporation の商標です。Copyright 2004-2010 Verance Corporation. すべての権利は Verance が保有しています。リパース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。
- Windows Media は米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。本製品は、Microsoft Corporation が有する特定の知的財産権によって保護されています。Microsoft および Microsoft 関連会社から使用許諾を得ることなく、この技術の本製品以外で使用した

は頒布することは禁じられています。

- コンテンツ所有者は、Microsoft PlayReady™ のコンテンツアクセス技術を利用して、著作権保護コンテンツ等の知的財産を保護しています。本機は PlayReady で保護されたコンテンツおよび/または WMDRM で保護されたコンテンツへのアクセスに PlayReady 技術を利用して、著作権保護コンテンツの利用を正しく制限しない場合、コンテンツ所有者は、PlayReady で保護されたコンテンツを利用する機器の能力を取り消すよう Microsoft に要求することができます。この取り消しにより、著作権保護されていないコンテンツまたは他のコンテンツアクセス技術で保護されたコンテンツに影響が及ぶことはありません。コンテンツ所有者は、自らのコンテンツへのアクセスに際し、PlayReady のアップグレードを要求する場合があります。アップグレードを拒否した場合は、アップグレードが要求されるコンテンツにアクセスできないようになります。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Access®、Wi-Fi Alliance®および Miracast® は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™ および Wi-Fi CERTIFIED Miracast™ は、Wi-Fi Alliance の商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup Identifier Mark は、Wi-Fi Alliance の認証マークです。
- DLNA™、the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.



- Bluetooth® ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。その他すべての商標および商号は各社の所有物です。
- LDAC および LDAC ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- “PS”、“PlayStation” および “DUALSHOCK” は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。
- Google Play は Google LLC の商標です。
- Apple は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- 本機には以下のライセンスの適用を受ける Spotify ソフトウェアが含まれております*。
<https://developer.spotify.com/esdk-third-party-licenses/SpotifyとSpotifyロゴはSpotifyGroupの商標です>。
- *一部の国/地域では本機能をご利用になれない場合があります。
- Opera® Devices SDK from Opera Software ASA. Copyright 1995-2015 Opera Software ASA. All rights reserved.



- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは省略している場合があります。

ソフトウェアライセンス

ソフトウェア使用許諾契約書については、各ネットワークサーババイコンのオプションメニューの【使用許諾契約書】をご覧ください。

他のソフトウェアライセンスに関する詳細情報は、【設定】を選び、【本体設定】の【ソフトウェアライセンス】をご参照ください。

本製品には、以下の GNU General Public License (以下「GPL」とします) または、GNU Lesser General Public License (以下「LGPL」とします) の適用を受けるソフトウェアが含まれています。お客様は添付の GPL または LGPL の条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、変更、再配布の権利があることをお知らせいたします。本機で使用するソースコードは GPL および LGPL の適用対象であり、Web で提供しています。ダウンロードする際には、以下のホームページにアクセスしてください。
<http://oss.sony.net/Products/Linux>
なお、ソースコードの中身に
ついてのお問い合わせはご遠慮ください。

第三者が提供するサービスに関する免責事項

第三者が提供するサービスは、予告なく、変更・停止・終了することがありますが、ソニーはこのような状況について一切の責任を負わないものとします。

目次

- 2 安全のために
- 7 使用上のご注意

はじめの接続や準備

- 11 各部の名前
- 14 Step 1: 接続する
- 15 Step 2: ネットワーク接続の準備
- 15 Step 3: かんたん設定

再生

- 17 ディスクを再生する
- 19 USB 機器を再生する
- 19 ネットワークを経由して再生する
- 21 Bluetooth 機器で本機の音声を聞く
- 22 さまざまなオプション

設定

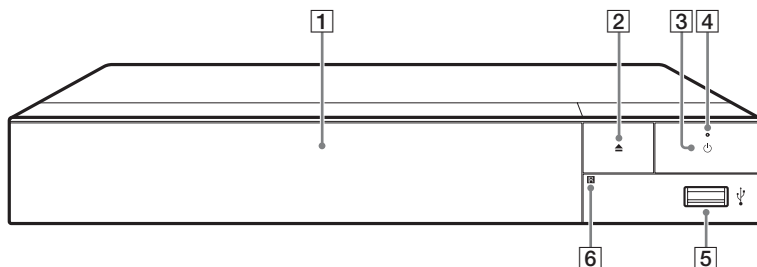
- 24 本機の設定を変更する
- 24 [ソフトウェアアップデート]
- 24 [映像設定]
- 26 [音声設定]
- 27 [Bluetooth 設定]
- 27 [BD/DVD 視聴設定]
- 28 [視聴年齢制限設定]
- 28 [ミュージック設定]
- 29 [本体設定]
- 30 [通信設定]
- 30 [かんたんネットワーク設定]
- 30 [設定初期化]

その他

- 31 故障かな？と思ったら
- 35 保証書とアフターサービス
- 36 主な仕様
- 43 索引

各部の名前

本体前面



1 ドアトレイ

2 ▲ (開/閉) ボタン

3 ㊦ (電源) ボタン

本機の電源を入れる、またはスタンバイ状態にします。

4 電源ランプ

本機の電源を入れると点灯します。

5 ㊦ (USB) 端子

USB 機器をこの端子につなぎます。

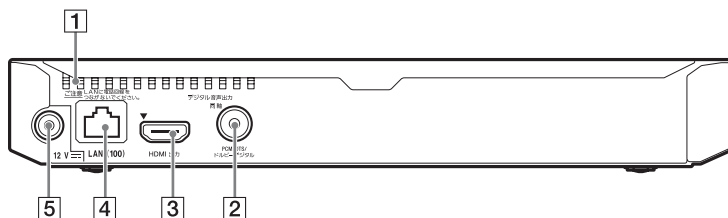
6 リモコン受光部

ディスクトレイをロックするには (チャイルドロック)

誤ってディスクトレイを開けないようにロックできます。

ディスクトレイをロックしたり、ロックを解除したりするには、本機の電源が入った状態で、リモコンの ■ 停止ボタン、ホームボタン、トップメニューボタンの順に押してください。

本体後面



1 通気口

2 デジタル音声出力 (同軸) 端子

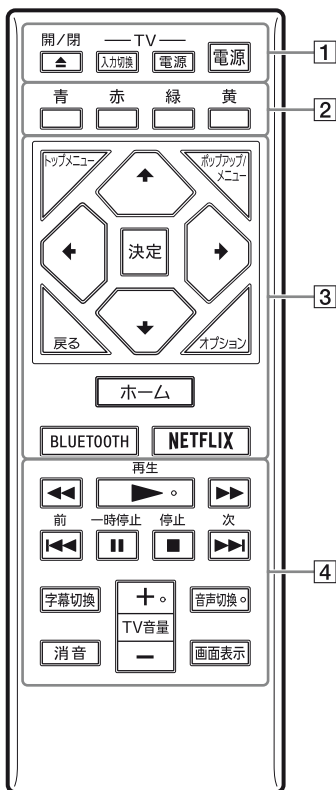
3 HDMI 出力端子

4 LAN (100) 端子

5 DC IN 12V (AC アダプター入力) 端子

リモコン

利用できるリモコンの機能は、ディスクや使用状況によって異なります。



ちょっと一言

音声切換ボタン、TV 音量+ボタン、および▶再生ボタンには凸(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

① ▲ 開/閉

ディスクトレイを開閉します。

TV 入力切換

テレビの入力を切り換えます。

TV 電源 (13 ページ)

テレビの電源を入れる、またはスタンバイ状態にします。

電源

本機の電源を入れる、またはスタンバイ状態にします。

② カラーボタン (青/赤/緑/黄)

各種メニューへショートカットできます。

③ トップメニュー

BD や DVD のトップメニューを表示または閉じます。

ポップアップ/メニュー

BD-ROM のポップアップメニューや DVD のメニューを表示または閉じます。

オプション (22 ページ)

選択できるオプション機能を画面に表示します。

戻る

ひとつ前の画面に戻ります。



上下左右に動かして項目を選びます。

ちょっと一言

- ↑/↓ は、音楽 CD 再生時に、トラックサーチのトラック番号を入力できます。
- ↑/↓ は、写真再生時に、写真を右回りまたは左回りに 90 度回転できます。
- ◀/▶ は、DLNA ビデオの再生中にサーチ機能を行うために使えます。

決定

選んだ項目を決定します。

ホーム

ホーム画面を表示します。

BLUETOOTH (21 ページ)

- Bluetooth 機器が一台も登録されていない場合は、スキャンした機器のリストが表示されます。
- Bluetooth 機器が一台以上登録されている場合は、最後に使用した機器に接続します。
- 接続中の Bluetooth 機器との接続を解除します。

NETFLIX

「NETFLIX」オンラインサービスにアクセスします。NETFLIX オンラインサービスに関する詳細情報は、以下のホームページの Q&A を確認してください。

<https://www.sony.jp/bd-player/>

4 ◀▶ (早戻し／早送り)

- 再生中に押すと、早送り再生または早戻し再生します。ビデオ再生中は、押すたびに速さが切り換わります。
- 一時停止中に1秒以上押すと、スロー再生します。
- 一時停止中に軽く押すと、コマ送り再生します。

▶ 再生

再生します。

◀◀ 前 / 次 ▶▶

前または次のチャプター／トラック／ファイルの先頭に進みます。

|| 一時停止

一時停止または再生を再開します。

■ 停止

再生を停止すると同時に、停止した位置を記憶します（つづき再生）。再開する位置は、動画／音楽では最後に停止した位置、写真では最後に再生した写真になります。

字幕切換 (27 ページ)

視聴しているBD-ROMやDVDビデオに字幕が複数の言語で記録されている場合、言語を選べます。

TV 音量 + / -

テレビの音量を調節します。

音声切換 (27 ページ)

視聴しているBD-ROMやDVDビデオにセリフが複数の言語で記録されている場合、言語を選べます。CDでは音声トラックを選べます。

消音

一時的にテレビの音を消します。

画面表示 (18 ページ)

再生情報を画面に表示します。

ちょっと一言

ディスクの種類によっては、つづき再生できないものがあります。

操作できるテレビの設定方法について

リモコンの-TV-電源ボタンを押したまま、下の表にしたがって、お使いのテレビメーカーに対して割り振られたボタンを2秒間押してください。

複数のボタンが割り当てられているメーカーの場合は、順にお試しいただき、お使いのテレビが操作できる設定を探してください。

メーカー	リモコンのボタン
ソニー*	カラーボタン (青)
パナソニック	カラーボタン (赤)
	◀◀ (早戻し)
東芝	カラーボタン (緑)
日立	カラーボタン (黄)
三菱	トップメニュー
JVC	ポップアップ/メニュー
三洋	決定
	▶▶ (早送り)
シャープ	戻る
NEC	オプション
パイオニア	ホーム
フナイ	▶ 再生
LG	◀◀ 前
サムスン	一時停止
	■ 停止

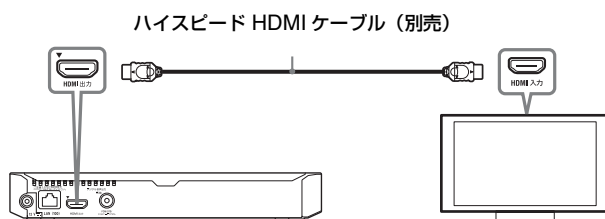
* お買い上げ時の設定です。

Step 1: 接続する

電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。

テレビにつなぐ

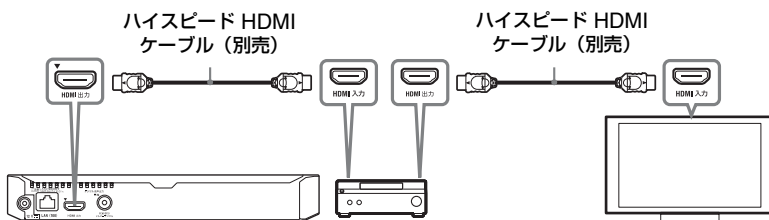
本機をハイスピード HDMI ケーブルでテレビにつないでください。



AV アンプにつなぐ

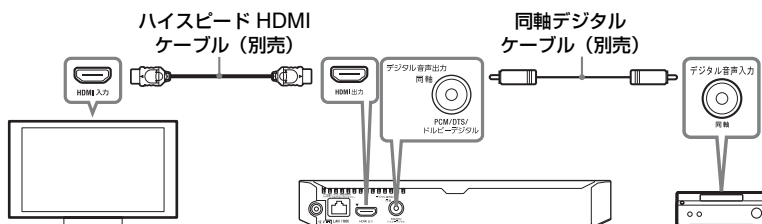
お使いの AV アンプの入力端子をご確認のうえ、つなぎかたを選んでください。

A



→ 音声によっては、[音声設定] → [BD 音声 MIX 設定] の変更が必要です (ページ 31、26)。

B



ちょっと一言

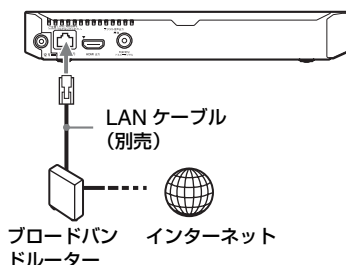
音が出ない、正しく音がでない場合は音声 (31 ページ) をご覧ください。

Step 2: ネットワーク接続の準備

本機をネットワークにつながらない場合は、「Step 3: かんたん設定」に進んでください。

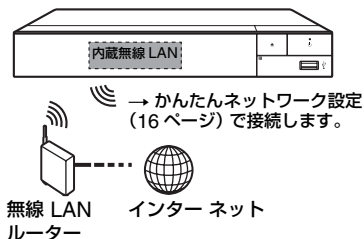
有線で接続する場合

LAN ケーブルを本機の LAN (100) 端子につなぎます。



無線で接続する場合

本機に内蔵されている無線 LAN と無線 LAN ルーターをつなぎます。



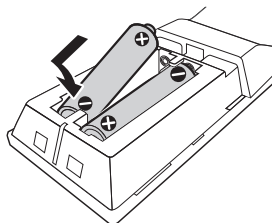
ちょっと一言

- お使いの無線 LAN ルーターが WPS に対応している場合は、WPS のご利用をおすすめします。
- 事前に WPS ボタン (ルーターの機種によっては、AOSS、らくらく無線スタートと記載されています) の位置をご確認ください。

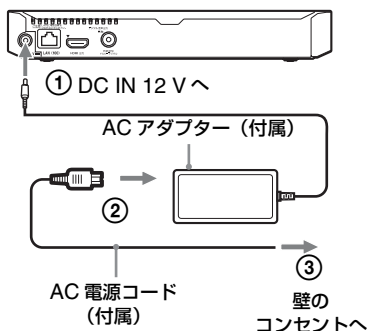
Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) とは、無線 LAN 機器の接続やセキュリティ等の設定を容易に行うことができる機能です。

Step 3: かんたん設定

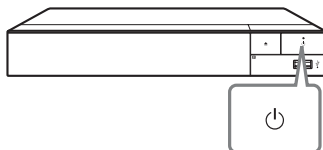
- 1 リモコンに電池を入れる。
電池の ⊕ と ⊖ 側をリモコンの電池ホルダー内の表示に合わせ、単 4 形 (R03) 乾電池 2 本を入れてください。



- 2 本機に AC アダプターをつなぐ。
付属の AC アダプターと AC 電源コードを以下の順番でつないでください。抜くときは、逆の順番で抜いてください。



- 3 本機の電源を入れる。
⏻ (電源) ボタンを押して、本機の電源を入れる。



4 テレビの入力をあわせる。

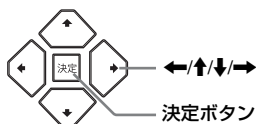
テレビの電源を入れ、テレビのリモコンの入力切換ボタンを押して、テレビの入力を本機がつながっている入力（「HDMI 1」など）に設定する。これにより、本機の映像がテレビ画面に映ります。本機の映像がテレビ画面に映らないときは、HDMI ケーブルが正しく差し込まれていない可能性があります。本機の電源を切り、HDMI ケーブルを抜き、もう一度しっかり差し込んでください。そのあと、本機の電源をもう一度入れてください。

5 [かんたん初期設定] を行う。

初めて本機の電源を入れるときだけ、[かんたん初期設定] 画面が表示されます。

6 [かんたんネットワーク設定] を行う。

ひきつづき、リモコンの ◀/▶/⬇/⬆/⬇/▶ で決定ボタンを使い、画面の指示にしたがって設定してください。

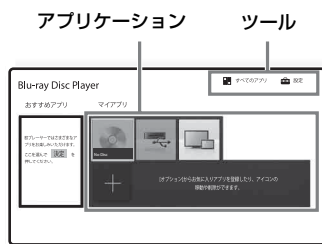


ちょっと一言

- 無線 LAN 設定を WPS で行う場合、本機の [かんたんネットワーク設定 - 無線 LAN 接続] 画面における「開始」を選択して、次に無線 LAN ルーターの WPS ボタンを押すと、自動的に本機と無線 LAN ルーターの接続が完了します。
- 本機と無線 LAN ルーターの接続が完了しない場合、一旦終了となりますが、以下の内容をご確認いただき、無線 LAN 設定を再度開始してください。
- 無線 LAN ルーターの電源が入っていること。
- 無線 LAN ルーター上でのボタン操作が正しいこと。
- 無線 LAN ルーターが通信範囲内にあること。
- 通信の妨げとなる機器（電子レンジなど）が動作していないこと。
- ネットワーク設定の詳細は以下のホームページの「Q&A」で、ご覧いただけます。
<https://www.sony.jp/support/bd-player/>

ホーム画面表示

ホームボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。◀/▶/⬇/⬆/⬇/▶ でアプリケーションを選び、決定ボタンを押してください。



[マイアプリ]：お気に入りのアプリケーションを管理します。[すべてのアプリ] からアプリケーションへのショートカットを追加することができます。

[おすすめアプリ]：おすすめのアプリケーションを表示します。

[すべてのアプリ]：利用できるアプリケーションをすべて表示します。オプションボタンを押して、[マイアプリに追加] を選ぶと、アプリケーションを [マイアプリ] に追加することができます。

[設定]：本機の設定を調整します。

さまざまなオプション

オプションボタンを押すと、さまざまな設定や再生中の操作ができます。表示されるオプションは、使用状況によって異なります。

[アプリの並び換え]：[マイアプリ] のアプリケーションを整理します。

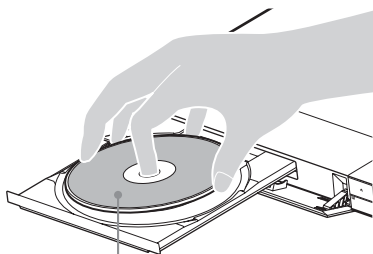
[アプリを削除]：[マイアプリ] のアプリケーションを削除します。

[データコンテンツ]：ディスクに収められているデータコンテンツを表示します。（データコンテンツが存在するディスクを再生させた場合のみ）

ディスクを再生する

「再生できるディスク」については、37ページをご覧ください。

- 1 テレビの電源を入れ、本機の映像が映るようにテレビの入力を切り換える。
- 2 ▲ 開／閉ボタンを押して、ディスクトレイにディスクをのせる。



再生面を下に

- 3 ▲ 開／閉ボタンを押してディスクトレイを閉める。
再生が始まります。
再生が自動的に始まらない場合、
● (ディスク) の [ビデオ]、
[ミュージック]、または [フォト] を
選び、決定ボタンを押してください。

ちょっと一言

- 映像や音声がでないなど、お困りのときは「故障かな?と思ったら」(31ページ)をご覧ください。
- ● (ディスクおよびフォルダー) のアイコンが表示された場合は、ディスクにデータコンテンツが存在します。オプションメニューから [データコンテンツ] を選択することで表示させることができます。

BONUSVIEW (ボーナスビュー) や BD-LIVE (BDライブ) を楽しむ

BD-LIVE ロゴが記載された BD-ROM には、スペシャルコンテンツ (BONUSVIEW) や、ネットワークからダウンロードして楽しむコンテンツ (BD-LIVE) などが用意されているものがあります。

BD-LIVE™

- 1 USB メモリーを本体の USB 端子に差し込む (11 ページ)。
容量 1GB 以上の USB メモリーをローカルストレージとして使用してください。
- 2 BD-LIVE の準備をする (BD-LIVE のみ)。
● 本機をネットワークにつないでください (15 ページ)。
● [BD/DVD 視聴設定] の [BD インターネット接続] を [許可する] に設定してください (27 ページ)。
- 3 BONUSVIEW (ボーナスビュー) や BD-LIVE (BDライブ) 対応の BD-ROM を入れる。
操作方法はディスクによって異なります。ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

USB メモリー内のデータを消去するには、[BD/DVD 視聴設定] で [BD データ削除] を選び、決定ボタンを押してください。buda フォルダー内のすべてのデータが消去されます。

Blu-ray 3D を楽しむ

Blu-ray 3D ロゴが記載された Blu-ray 3D ディスクを再生できます。



1 Blu-ray 3Dディスクを再生する準備をする。

- 本機をハイスピード HDMI ケーブルで 3D 対応の機器につないでください。
- [映像設定] の [3D 出力設定] と [3D テレビ画面サイズ設定] を設定してください (24 ページ)。

2 Blu-ray 3D ディスクを入れる。

操作方法はディスクによって異なります。ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

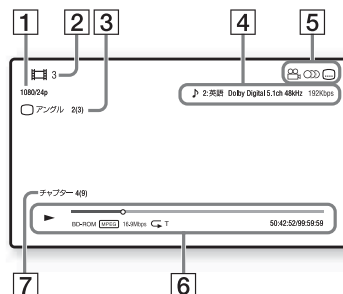
お使いのテレビや接続機器の取扱説明書もご覧ください。

再生情報を表示する

画面表示ボタンを押すと、再生情報などを確認できます。

ディスクの種類や本機の状態によって、表示される情報は異なります。

例：BD-ROM の場合




- 1 出力解像度／フレームレート
- 2 タイトル番号またはタイトル名
- 3 画面アングル
- 4 音声設定
- 5 使用可能な機能 (🔊 アングル／🗣️ 音声／📄 字幕)
- 6 再生情報
再生モード／再生位置表示バー／
ディスクの種類／ビデオコーデック／
ビットレート／リピート設定の
種類／経過時間／総時間
- 7 チャプター番号

USB 機器を再生する

USB 機器内のビデオ、音楽、写真を再生できます。

再生できるファイルについては、「再生できるファイルの種類」(38 ページ)をご覧ください。

- 1 USB 機器を本機の USB 端子につなぐ。
つなぐ前に USB 機器の取扱説明書をご覧ください。
- 2 ←/↑/↓/→ を押して  [USB 機器] を選び、決定ボタンを押す。
- 3 ↑/↓ で [ビデオ]、[ミュージック]、または [フォト] カテゴリーを選び、決定ボタンを押してください。

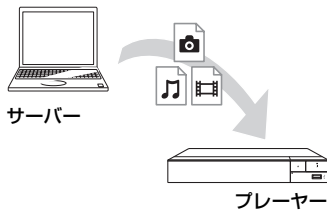
ネットワークを經由して再生する

パソコンなどに保存したファイルを本機で見る (ホームネットワーク機能)

他の DLNA 対応機器内の動画/音楽/写真をネットワーク経由で再生できます。

- 1 ホームネットワーク機能の準備をする。
 - 本機をネットワークにつないでください (15 ページ)。
 - 他の必要な DLNA 対応機器を準備してください。
機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

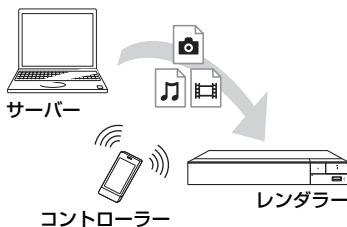
本機を經由して DLNA サーバー上のファイルを再生するには (DLNA プレーヤー)



[すべてのアプリ] の [メディアサーバー] から [ビデオ]、[ミュージック]、または [フォト] カテゴリーを選び、再生したいファイルを選んでください。

他の機器を使って DLNA サーバー上のファイルを再生するには (DLNA レンダラー)

本機で DLNA サーバー上のファイルを再生する場合、DLNA コントローラー対応機器 (携帯電話など) を使って再生中の操作ができます。



DLNA コントローラーを使い、操作してください。DLNA コントローラーに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

録画回数制限のあるデジタル放送の番組をホームネットワーク機能を使用して再生するには、他機器側が DTCP-IP* 規格に対応している必要があります。

* DTCP-IP (Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol) とは、著作権保護を目的として開発されたネットワーク規格です。

ちょっと一言

本機が再生できる、DLNA サーバー上にあるファイルの種類については、「再生できるファイルの種類」(38、39 ページ)をご覧ください。

「Spotify Connect」を使う

Spotify Connect で音楽を聞く

- 1 本機を WiFi ネットワークにつなぐ。
- 2 お使いのモバイル機器（スマートフォンやタブレットなど）を同じ WiFi ネットワークに接続し、Spotify のアプリを立ち上げる。
- 3 音楽を再生して、「利用可能なデバイス」を選ぶ。
- 4 本機を選び、音楽を聞く。

ご注意






一部の国／地域では Spotify アプリをご利用になれない場合があります。

スクリーンミラーリングを使用する

「スクリーンミラーリング」とは、Miracast 技術を使って、モバイル機器の画面をテレビに表示する機能です。本機をスクリーンミラーリング対応機器（スマートフォンやタブレットなど）に直接つなぐことができます。本機を経由してスマートフォンやタブレットの画面をお使いの TV の大画面に映して楽しむことができます。スクリーンミラーリングには無線 LAN ルーター（アクセスポイント）は必要ありません。

ご注意

- スクリーンミラーリングを使用する場合、他のネットワークからの干渉があると、画質や音質が劣化する場合があります。[スクリーンミラーリング周波数設定] を調整することで改善することができます（30 ページ）。
- スクリーンミラーリング使用中は、いくつかのネットワーク機能が使えないことがあります。
- スクリーンミラーリングを使用する場合は、スマートフォンやタブレットのスクリーンミラーリング設定から接続してください。
- スマートフォンやタブレットが Miracast に対応していることを確認してください。すべての Miracast 対応機器との接続を保証するものではありません。

- 1     でホーム画面から  [スクリーンミラーリング] を選び、決定ボタンを押してください。
- 2 画面の指示にしたがってください。

Bluetooth 機器で本機の音声を聞く

本機を經由して Bluetooth 機器（ヘッドホンなど）で音声を聞くには、本機と Bluetooth 機器をペアリング* する必要があります。



本機からの音声を、Bluetooth 対応スピーカーやヘッドホンなどでワイヤレス再生し、聞くことができます。スマートフォンの音楽などを受信し本機で聞くことはできません。

Bluetooth 機器と接続する

Bluetooth 機能を使用する前に、[Bluetooth 設定] の [Bluetooth モード] を [入] にしてください (27 ページ)。

- 1 相手側の Bluetooth 機器 (以下、Bluetooth 機器と表示) を本機の 1 m 以内に置く。
- 2 Bluetooth 機器の Bluetooth 機能を ON にする。
初めて接続する機器の場合は、ペアリングモード* にしてください。
Bluetooth 機器のペアリングモードの設定については各機器の取扱説明書をご覧ください。2 回目以降の接続は、ペアリングの必要はありません。
- 3 [設定] → [Bluetooth 設定] → [機器リスト] を選ぶ。
Bluetooth 接続可能な機器が表示されます。
- 4 ↑/↓ ボタンで機器を選び、決定ボタンを押す。
Bluetooth 接続すると、接続した機器の名前がテレビ画面に表示されます。

* ペアリングとは、あらかじめ接続する Bluetooth 機器同士を登録する操作です。

ちょっと一言

- 再生画面で、リモコンのオプション機能 (22 ページ) → [Bluetooth 機器] でも機器リストが表示できます。
- リモコンの BLUETOOTH ボタンを使うと、最後に接続した Bluetooth 機器にすぐに接続できます。

Bluetooth 機器で音声を聴く

[Bluetooth 機器と接続する] (21 ページ) の設定後、

- 1 本機の、コンテンツの再生を開始する。
- 2 音量を調節する。
最初に、Bluetooth 機器の音量を調節します。それでも音量が小さいときは、本機の、再生画面表示中にリモコンのオプションを押し、[Bluetooth 音量] を選んで音量を調節します。音量を調節するには、↑/↓ ボタンを押してください。

ご注意

- SCMS-T 非対応の Bluetooth 機器へは音声を出力できません。
- 特定のコンテンツは著作権保護により Bluetooth 機器へ音声を出力できません。
- Bluetooth 機器によっては音量を調節できない場合があります。

Bluetooth 機器の接続を解除する

- 次の項目のどれかを行ってください。
- リモコンの BLUETOOTH ボタンを押す (12 ページ)。
 - Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオフにする。
 - 本機または Bluetooth 機器の電源を切る。

ご注意

突然大きな音が出ないよう、Bluetooth 機器の接続を解除する前にテレビの音量を下げてください。

さまざまなオプション

オプションボタンを押すと、さまざまな設定や再生中の操作ができます。表示されるオプションは、使用状況によって異なります。

共通オプション

項目	できること
[リピート設定]	リピートモードを設定します。
[3D メニュー]	<ul style="list-style-type: none"> ● [シミュレーテッド 3D] : 2D 映像を 3D に変換するときの効果を調整します。 ● [3D 奥行き調整] : 3D 映像の奥行きを調整します。 ● [2D 再生] : 3D 映像を 2D で再生します。
[再生] / [再生停止]	再生を開始または停止します。
[はじめから再生]	タイトルを始めから再生します。
[Bluetooth 機器]	Bluetooth 機器のリストを表示します。
[Bluetooth 音量]	Bluetooth 音量調節表示を表示します。Bluetooth 機器が接続されているときのみ使えます。

ビデオのみ

項目	できること
[3D 出力設定]	3D 映像を自動で出力するか設定します。
[画音同期調整]	映像と音声とのずれを補正します。音声出力を映像出力より遅らせます (0 ~ 120 ミリ秒)。

項目	できること
[画質設定]	<p>- [画質モード] : 視聴環境の明るさに合わせて画質を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [ダイレクト] *1 / [スタンダード] *2 ● [明るい部屋] *1*2 ● [暗い部屋] *1*2 ● [自動] *1 ● [カスタム 1] *1 / [カスタム 2] *1 <ul style="list-style-type: none"> ■ [質感調整] : 鮮明さとエッジの詳細を調整します。 ■ [超解像] : 解像度を向上させます。 ■ [スムージング] : 画像の平坦部のグラデーションを滑らかにして、画面上のバンディングを低減します。 ■ [コントラストリマスター] : 黒レベル、白レベルを自動的に整え、黒浮きしない、メリハリのある画像にします。 ■ [クリアブラック] : 映像の黒い部分の表現をお好みの状態に調整します。全体の陰影を損なうことなく、艶やかな黒を演出できます。 ■ [FNRR] : 映像に現われるランダムノイズを低減します。 ■ [BNRR] : 映像のモザイクのようなブロックノイズを低減します。 ■ [MNR] : 映像の輪郭部の細かいノイズ (モスキートノイズ) を低減します。 ■ [コントラスト] ■ [ブライトネス]

項目	できること
	<ul style="list-style-type: none"> ■ [色の濃さ] ■ [色合い] <p>*1 2K の映像信号出力時に使えます。4K 対応機器につないでいるときにこの設定を表示するには、[映像設定] の [4K 出力] を [切] に設定してください。</p> <p>*2 4K の映像信号出力時に使えます。</p>
[再生一時停止]	再生を一時停止します。
[トップメニュー]	BD や DVD のトップメニューを表示します。
[メニュー] / [ポップアップ]	BD-ROM のポップアップメニューや DVD のメニューを表示します。
[タイトルサーチ]	BD-ROM や DVD ビデオのタイトルを選んで頭出しします。
[チャプターサーチ]	チャプターを選んで頭出しします。
[音声切換]	BD-ROM や DVD ビデオに音声トラックが複数の言語で記録されている場合、言語を切り替えます。
[字幕切換]	BD-ROM や DVD ビデオに字幕が複数の言語で記録されている場合、字幕言語を切り替えます。
[映像切換]	BD-ROM や DVD ビデオに他のアングルからの映像が記録されている場合、映像を切り換えます。
[数字入力]	リモコンの ◀/▶/⏪/⏩ ボタンで番号を選びます。


ミュージックのみ





項目	できること
[トラックサーチ]	音楽 CD の再生中にトラック番号で頭出しします。
[スライドショーの BGM 登録]	USB メモリー内の音楽ファイルを、スライドショーの BGM に登録します。
[シャッフル設定]	[入] に設定すると、音楽ファイルを順不同に再生します。

フォトのみ

項目	できること
[スライドショーの速さ]	スライドショーの速さを設定します。
[スライドショーの効果]	スライドショーの表示方法を設定します。
[スライドショーの BGM]	<ul style="list-style-type: none"> • [切] : BGM を設定しません。 • [My Music (USB)] : [スライドショーの BGM 登録] で登録した音楽ファイルを BGM に設定します。 • [音楽 CD から再生] : CD-DA のトラックを BGM に設定します。
[表示切換]	[グリッド表示] と [リスト表示] を切り換えます。
[表示]	選択した写真を表示します。
[スライドショー]	スライドショーを再生します。
[回転 (左)]	写真を左回りに 90 度回転させます。
[回転 (右)]	写真を右回りに 90 度回転させます。

本機の設定を変更する

本機の設定を変更したいときは、ホーム画面で  [設定] を選んでください。お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

- 1  /  でホーム画面の  [設定] を選んでください。
- 2  を押して設定カテゴリーのアイコンを選び、決定ボタンを押す。

[ソフトウェアアップデート]

■ [ネットワーク経由でアップデート]

ネットワーク経由で本機のソフトウェアを最新の状態にアップデートします。ネットワークがインターネットに接続されていることを確認してください。詳しくは、「Step 2: ネットワーク接続の準備」(15 ページ) をご覧ください。

■ [USB メモリーからアップデート]

USB メモリーを使って本機のソフトウェアを最新の状態にアップデートします。ソフトウェアアップデート用のフォルダ名が「UPDATE」となっていること、また、全てのアップデート用ファイルがこのフォルダ内に保存されていることを確認してください。本機が 1 つの階層で認識できるファイル/フォルダ数は、アップデート用のファイル/フォルダを含めて最大 500 個までです。

ちょっと一言

- 2か月に 1 回程度を目安にネットワークアップデートの確認を行うことをおすすめします。
- ネットワークの状態が悪いときは、USB メモリーを使って、最新のソフトウェアバージョンを <https://www.sony.jp/bd-player/> からダウンロードし、アップデートを行ってください。

アップデートの情報は、ホームページでご確認いただけます。または、お近くのソニー製品取扱店か、正規ソニーサービス窓口にご相談ください。

- アップデート時の操作は、必ず本機付属のリモコンをご使用ください。

[映像設定]

■ [3D 出力設定]

[自動] : 通常はこの設定にしてください。
[切] : すべての映像を 2D で表示するとき、この設定を選んでください。

■ [3D テレビ画面サイズ設定]

お使いの 3D 対応テレビの画面サイズを設定します。

■ [テレビタイプ]

[16:9] : ワイド画面のテレビまたはワイドモード機能が搭載されているテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。
[4:3] : 画面サイズが 4 : 3 でワイドモード機能が搭載されていないテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。

■ [画面モード]

[フル] : ワイドモード機能が搭載されているテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。ワイドテレビでも 4 : 3 映像を常に 16 : 9 で表示します。
[ノーマル] : 映像の横縦比は維持したまま、映像サイズをテレビの画面サイズに合わせて変更します。

■ [DVD ワイド映像表示]

[レターボックス] : ワイド映像を横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示します。



[パンスカン] : ワイド映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示します。



■ [シネマ変換モード]

[自動] : 通常はこの設定にしてください。ビデオ素材とフィルム素材の違いを本機が検出し、自動で素材に合わせた変換方法に切り換えます。

[ビデオ] : 記録されている映像素材にかかわらず、常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換します。

■ [出力映像解像度設定]

通常は [自動] を選んでください。ディスクに記録された解像度で出力するときは、[オリジナル解像度] を選んでください。解像度が SD 解像度より低い場合、SD 解像度にして出力されます。

■ [24p 出力]

1080/24p 対応のテレビに HDMI 接続しており、[出力映像解像度設定] が [自動] または [1080p] に設定されているとき、24p の映像信号を出力します。

[BD-ROM 24p 出力]

[自動] : 1080/24p 対応のテレビに HDMI 接続しているとき、1920 × 1080p/24 Hz の映像信号を出力します。

[入] : 設定を実行します。

[切] : お使いのテレビが 1080/24p に対応していないとき、この設定を選んでください。

[DVD-ROM 24p 出力]

[自動] : 1080/24p 対応のテレビに HDMI 接続しているとき、1920 × 1080p/24 Hz の映像信号を出力します。

[切] : お使いのテレビが 1080/24p に対応していないとき、この設定を選んでください。

[ビデオデータコンテンツ 24p 出力]

この機能は、USB メモリーやデータディスクのコンテンツの再生に役立ちます。

[自動] : 1080/24p 対応のテレビに HDMI 接続しているとき、1920 × 1080p/24 Hz の映像信号を出力します。
[切] : お使いのテレビが 1080/24p に対応していないとき、この設定を選んでください。

[ネットワークコンテンツ 24p 出力]

この機能は、ホームネットワークやスクリーンミラーリングなど他のネットワークのコンテンツの再生に役立ちます。

[自動] : 1080/24p 対応のテレビに HDMI 接続しているとき、1920 × 1080p/24 Hz の映像信号を出力します。

[切] : お使いのテレビが 1080/24p に対応していないとき、この設定を選んでください。

■ [4K 出力]

[自動 1] : 4K 対応のソニー製機器につないでいるとき、映像再生時には 2K (1920 × 1080) の映像信号を、写真再生時には 4K の映像信号を出力します。

ソニー製以外の 4K 対応機器につないでいるとき、BD-ROM/DVD-ROM/データコンテンツ/ネットワークコンテンツの 24p 映像コンテンツの再生時、または写真の再生時に、4K の映像信号を出力します。

[自動 2] : 4K/24p 対応の機器につなぎ、[BD-ROM 24p 出力]、[DVD-ROM 24p 出力]、[ビデオデータコンテンツ 24p 出力] または [ネットワークコンテンツ 24p 出力] を正しく設定した場合に、4K/24p の映像信号を自動的に出力します。また、2D 写真ファイルの再生時には 4K/24p の写真画像を出力します。

[切] : 本機能を停止します。

ご注意

[自動 1] を選んだときにお使いのソニー製機器が見つからない場合は、[自動 2] の設定と同じ効果となります。

■ [HDMI 映像出力フォーマット]

[自動] : お使いのテレビの種類に応じて、自動で映像信号の色空間を設定します。

[YCbCr(4:2:2)] : YCbCr 4:2:2 の映像信号を出力します。

[YCbCr(4:4:4)] : YCbCr 4:4:4 の映像信号を出力します。

[RGB] : RGB の映像信号を出力します。

■ [HDMI Deep Color 出力]

[自動] : 通常はこの設定にしてください。

[16bit]、[12bit]、[10bit] : Deep Color 対応のテレビにつないでいるとき、16 ビット / 12 ビット / 10 ビットの映像信号を出力します。

[切] : 映像が不安定、または色が不自然なとき、この設定を選んでください。

■ [SBM] (スーパービットマッピング)

[入] : HDMI 出力端子から出力される映像信号の階調をなめらかに表現します。

[切] : 映像が乱れたときや色が不自然なとき、この設定を選んでください。

■ [IP コンテンツ NR プロ]

[ビデオ - 強] / [ビデオ - 中] / [ビデオ - 弱] / [フィルム - 弱] / [フィルム - 中] / [フィルム - 強] : インターネットコンテンツの画質を調整します。

[切] : 本機能を停止します。

■ [一時停止モード]

[自動] : 通常はこの設定にしてください。動きの大きい被写体の映像がぶれずに表示されます。

[フレーム] : 動きの少ない被写体の映像が高い解像度で表示されます。

🔊 [音声設定]

■ [デジタル音声出力]

[自動] : 通常はこの設定にしてください。本機につないだ機器の状態に応じて音声信号を出力します。

[PCM] : デジタル音声出力 (同軸出力) / HDMI 出力端子から PCM 信号を出力します。

■ [DSD Output モード]

[自動] : スーパーオーディオ CD や DSD ファイルを再生しているとき、HDMI 出力端子から DSD 信号を出力します。この場合、その他の端子からは信号を出力しません。

[切] : スーパーオーディオ CD や DSD ファイルを再生しているとき、HDMI 出力端子から PCM 信号を出力します。

■ [BD 音声 MIX 設定]

[入] : セカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオが含まれる BD を再生するとき、それらを混合して出力します。

[切] : プライマリーオーディオのみ出力します。HD 音声信号を AV アンプに出力したいとき、この設定を選んでください。

■ [AAC]

[ダウンミックス PCM] : リニア PCM 信号に変換 (ダウンミックス) して出力します。AAC デコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないでいるとき、この設定を選んでください。

[AAC] : AAC デコーダー内蔵のオーディオ機器をつないでいるとき、この設定を選んでください。

■ [Digital Music エンハンサー]

[入] : インターネットコンテンツや USB メモリー内のコンテンツを再生するとき、サウンドエフェクト機能が有効になります。

[切] / [サウンドバーモード] : 本機能を停止します。

■ [Dolby Digital 変換]

[入] : EDID (拡張ディスプレイ識別データ) を使って、DTS 音源をドルビーデジタル音声に変換します。

[切] : 本機能を停止します。

■ [オーディオ DRC]

[自動] : ディスクによって定められたダイナミックレンジで再生します (BD-ROM のみ)。他のディスクの場合、

[入] と同じレベルで再生します。

[入] : 標準的な音になります。

[切] : 迫力のある音になります。

■ [ダウンミックス]

[サラウンド] : サラウンド効果のかかった音声信号を出力します。ドルビーサラウンド (プロロジック) または DTS Neo:6 対応のオーディオ機器につないでいるとき、この設定を選んでください。

[ステレオ] : サラウンド効果のかかっていない音声信号を出力します。ドルビーサラウンド (プロロジック) または DTS Neo:6 に対応していないオーディオ機器につないでいるとき、この設定を選んでください。

[Bluetooth 設定]

■ [Bluetooth モード]

[入] : Bluetooth 設定と機能が有効になります。

[切] : Bluetooth 設定と機能が無効になります。

■ [機器リスト]

[Bluetooth モード] が [入] になっているときは、ペアリング済および検出された Bluetooth 機器のリストが表示されます。

■ [Bluetooth Codec - AAC] / [Bluetooth Codec - LDAC]

この機能は [Bluetooth モード] を [入] にすると使えます。

[入] : AAC/LDAC コーデックが有効になります。

[切] : AAC/LDAC コーデックが無効になります。

ご注意

この項目は、Bluetooth 機器との接続中は選択できません。

ちょっと一言

LDAC は、ソニーが開発したハイレゾ音源を Bluetooth 経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。SBC 等の既存 Bluetooth 向け圧縮技術とは異なり、ハイレゾ音源を低い周波数・低いビット数へダウンコンバートすることなく処理します*。また極めて効率的な符号化やパケット配分の最適化を施すことで、従来技術比約 3 倍**のデータ量の送信を可能とし、これまでにない高音質の Bluetooth 無線伝送を実現しています。

* DSD フォーマットのコンテンツは除く。

** 990 kbps (96/48 kHz) または 909 kbps (88.2/44.1 kHz) のビットレートを選択した場合の SBC (Subband Coding) との比較。

■ [ワイヤレス再生品質]

この機能は、[Bluetooth モード] および [Bluetooth Codec - LDAC] を [入] にすると使えます。音声出力または Bluetooth 接続が不安定なときは、[接続優先] を選んでください。

[自動] : データの転送速度を自動的に設定します。

[音質優先] : 最も高いデータレートが使われます。音声は高音質で送信されますが、接続状況が良くないと音声の再生が不安定になることがあります。

[標準] : 中データレートが使われます。音質と安定性を両立させます。

[接続優先] : 安定性が優先されます。音質は多少劣化しますが接続が安定します。

[BD/DVD 視聴設定]

■ [BD/DVD メニュー言語]

BD-ROM/DVD ビデオメニューに表示する言語を設定します。

[言語コード指定] を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。

「言語コード一覧」(42 ページ) を参照して、言語コードを入力してください。

■ [音声言語]

BD-ROM や DVD ビデオのデフォルトの音声言語を選択します。

[オリジナル] を選ぶとディスクに記録されている優先言語が選ばれます。

[言語コード指定] を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。

「言語コード一覧」(42 ページ) を参照して、言語コードを入力してください。

■ [字幕言語]

BD-ROM や DVD ビデオに記録されている字幕の言語を設定します。

[言語コード指定] を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。

「言語コード一覧」(42 ページ) を参照して、言語コードを入力してください。

■ [BD ハイブリッドディスク再生層]

[BD] : BD 層を再生します。

[DVD/CD] : DVD 層または CD 層を再生します。

■ [BD インターネット接続]

[許可する] : 通常はこの設定にしてください。

[許可しない] : インターネット接続を禁止します。

■ [BD データ削除]

USB メモリー内のデータを消去します。buda フォルダー内のすべてのデータが消去されます。



【視聴年齢制限設

■【暗証番号設定】

視聴制限のための暗証番号を設定または変更できます。暗証番号を設定すると、視聴制限がある BD-ROM、DVD ビデオ、およびインターネットビデオの視聴や再生を制限できます。必要に応じて、BD-ROM、DVD ビデオ、およびインターネットビデオに、違う制限レベルを設定できます。

■【視聴年齢制限使用地域】

BD-ROM、DVD ビデオ、またはインターネットビデオには、住んでいる国や地域によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4桁の暗証番号を入力してください。

■【BD 視聴年齢制限】

BD-ROM には、見る人の年齢によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4桁の暗証番号を入力してください。

■【DVD 視聴年齢制限】

DVD ビデオには、見る人の年齢によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4桁の暗証番号を入力してください。

■【インターネットビデオ利用制限】

[入]：インターネットビデオの利用を制限します。インターネットビデオを利用するには、4桁の暗証番号を入力する必要があります。

[切]：インターネットビデオの利用を制限しません。

■【インターネットビデオ視聴年齢制限】

インターネットビデオには、見る人の年齢によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4桁の暗証番号を入力してください。

■【制限情報無しインターネットビデオ】

[許可する]：視聴年齢制限がないインターネットビデオの再生を許可します。

[許可しない]：視聴年齢制限がないインターネットビデオの再生を禁止します。

♪【ミュージック設定】

■【Super Audio CD 再生層】

[Super Audio CD]：スーパーオーディオ CD 層を再生します。

[CD]：CD 層を再生します。

■【Super Audio CD 再生チャンネル】

[DSD 2ch]：2チャンネルエリアを再生します。

[DSD マルチ]：マルチチャンネルエリアを再生します。

[本体設定]

■ [HDMI 機器制御設定]

HDMI 対応のソニー製機器をハイスピード HDMI ケーブルで接続すると、操作が簡単になります。

[HDMI 機器制御]

[入]：以下のブラビアリンク機能を利用できます。

- ワンタッチプレイ
- 電源オフ連動

[切]：設定を解除します。

ちょっと一言

詳しくは、テレビまたは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

[テレビ電源オフ連動]

[有効]：つないだテレビの電源が切れると、本機の電源が自動的に切れます（ブラビアリンク）。

[無効]：設定を解除します。

■ [DUALSHOCK(TM)4 ワイヤレスコントローラー]

お使いのワイヤレスコントローラーの登録や管理を行うことができます。画面の指示に従ってください。

ご注意

DUALSHOCK™4 ワイヤレスコントローラーは Bluetooth 技術を利用しています。

[Bluetooth 設定] の [Bluetooth モード] が [入] になっていることを確認してください (27 ページ)。

■ [高速起動モード]

[入]：電源を入れたときの起動時間を短縮します。

[切]：待機時の消費電力を減らします。

■ [自動電源オフ]

[入]：何も操作しないまま 20 分以上が経過すると、電源が自動的に切れます。

[切]：電源は自動的に切れません。

■ [自動画面表示]

[入]：タイトルが変わるときや、映像モードや音声信号が変わるときに画面上でその情報を自動的に表示します。

[切]：画面表示ボタンが押されたときのみ、情報を表示します。

■ [ソフトウェアアップデート通知]

[入]：ソフトウェアの更新情報をお知らせします (24 ページ)。

[切]：ソフトウェアの更新情報をお知らせしません。

■ [機器名]

プレーヤーの名称を表示します。プレーヤーの名称は変更できます。

■ [本体情報]

本機のソフトウェアのバージョンと、MAC アドレスを確認できます。

■ [ソフトウェアライセンス]

ソフトウェアライセンスについての情報を表示します。

【通信設定】

■【ネットワーク設定】

前もって本機をネットワークにつないでください。詳しくは、「Step 2: ネットワーク接続の準備」(15 ページ) をご覧ください。

[有線 LAN 設定] : LAN ケーブルでブロードバンドルーターに直接つなぐとき、この設定を選んでください。

[無線 LAN 設定] : 本機に内蔵の無線 LAN でつなぐとき、この設定を選んでください。

ちょっと一言

詳しくは、以下のホームページの「Q&A」をご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/bd-player/>

■【ネットワークの設定確認】

現在のネットワークの状態を表示します。

■【ネットワーク接続診断】

ネットワークに正しくつながっているか、接続診断をします。

■【スクリーンミラーリング周波数設定】

[自動] : スクリーンミラーリング接続の周波数帯を自動的に設定します。

[CH 1] / [CH 6] / [CH 11] : CH 1 / CH 6 / CH 11 を設定します。

■【接続サーバー設定】

接続されているサーバーを表示するか設定します。

■【自動ホームネットワークアクセス許可】

[入] : 新しく検出された DLNA コントローラー対応機器による自動アクセスを許可します。

[切] : 本機能を停止します。

■【ホームネットワークアクセス制御】

DLNA コントローラー対応製品のリストを表示し、リスト上のコントローラーからのコマンドを受けするかを設定します。

■【登録済モバイル機器リスト】

登録されたモバイル機器のリストを表示します。

■【リモート起動】

[入] : ネットワークを経由して連動した機器で本機の電源を入れることができます。

[切] : 本機能を停止します。

【かんたんネットワーク設定】

1・2・3
[かんたんネットワーク設定] を選び、ネットワークの設定を順に行ってください。画面の指示にしたがってください。

【設定初期化】

■【お買い上げ時の状態に設定】

本機の設定を各設定ごとにお買い上げ時の設定に戻します。選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。

■【個人情報の初期化】

本機に保存された個人情報を削除します。

ご注意

本機を廃棄、または他人に譲渡・転売する場合は、安全のために個人情報を削除してください。ネットワークサービスに登録している場合には、事前にサービスのログアウト処理などを行ってください。

故障かな？と思ったら

本機を使用しているときに以下のような症状が起きたら、修理に出す前にこの項を参考に点検してください。それでも正常に動作しないときは、お近くのソニーの相談窓口（裏表紙）へお問い合わせください。

映像

映像が出ない、乱れる。

- 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください（14 ページ）。
- テレビを本機につないでいる入力（「HDMI」など）に切り換えてください。
- リモコンの■ 停止ボタン、ホームボタン、ポップアップ／メニューボタンの順に押して、[出力映像解像度設定] を最も低い解像度にリセットしてください。
- 以下を試してください。① 本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。② 接続機器の電源を切り、もう一度電源を入れてください。③ HDMI ケーブルを抜き、もう一度差し込んでください。
- 著作権保護機能に対応していない DVI 機器と HDMI 出力端子をつないでいないか確認してください。
- [映像設定] の [出力映像解像度設定] の設定を確認してください（25 ページ）。
- BD-ROM / DVD-ROM / データコンテンツ / ネットワークコンテンツ については、[映像設定] の [24p 出力] を確認してください（25 ページ）。

音声

音が出ない、正しく音が出ない。

- 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください（14 ページ）。
- AV アンプから本機の音声が出るように AV アンプの入力を切り換えてください。
- デジタル音声出力端子から音が出ない場合は、音声設定が正しいか確認してください（26 ページ）。
- HDMI 接続のときは、以下を試してください。① 本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。② 接続機器の電源を切り、もう一度電源を入れてください。③ HDMI ケーブルを抜き、もう一度差し込んでください。
- HDMI 接続で、AV アンプを通してテレビをつないでいるときは、本機に直接テレビをつないでみてください。AV アンプの取扱説明書もご覧ください。
- HDMI 出力端子に DVI 機器がつながっている（DVI 端子は音声信号を受け付けません）。
- HDMI 出力端子につないでいる機器が、本機の音声フォーマットに対応しているか確認してください。本機の音声設定を確認してください（26 ページ）。

ドルビーデジタルプラスやドルビー TrueHD、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio などの HD 音声ビットストリームで出力されない。

- [音声設定] の [BD 音声 MIX 設定] を [切] に設定してください（26 ページ）。
- つながれた AV アンプがそれぞれの HD 音声フォーマットに対応しているか確認してください。

インタラクティブオーディオが出力されない。

- [音声設定] の [BD 音声 MIX 設定] を [入] に設定してください（26 ページ）。

HDMI 接続時に、AAC 音声は LPCM で出力される。

- AAC 音声出力は BDAV (放送録画コンテンツ) のみへ対応しております。
- [音声設定] の [デジタル音声出力] を「自動」に変更してください。
- [音声設定] の [AAC] を「AAC」に変更してください。
- [音声設定] の [Digital Music エンハンサー] を「切」または「サウンドバーモード」に変更してください。
- 接続しているテレビや AV アンプなどが AAC に対応しているか確認し、接続機器の仕様や設定を確認してください。

ディスクを再生したときに、コード 3 [音声出力を一時的に停止しました。音量を調整しないでください。このタイトルは Cinavia で保護されているため本機での再生が禁止されています。詳しい情報は、<http://www.cinavia.com> をご覧ください。コード : 3] というメッセージが画面に表示される。

- 本機は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画、そのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています (8 ページ)。

ディスク

ディスクを再生できない。

- ディスクが汚れていないか、または歪んでいないか確認してください。
- ディスクが裏返しになっていないか確認してください。再生面を下にしてください。
- 本機で再生できるフォーマットのディスクか確認してください (37、38 ページ)。
- 他機で記録や録画された CD や DVD を再生するときは、正しくファイナライズされているか確認してください (37 ページ)。
- BD や DVD の地域番号 (リージョンコード) が本機で再生できる番号か確認してください。また、同じ地域番号でも、異なる映像方式で記録された映像は出力できません (37 ページ)。

USB 機器

つながれた USB 機器が認識されない。

- USB 機器が正しく USB 端子につながれているか確認してください。
- USB 機器またはケーブルの端子が汚れていないか確認してください。
- USB 機器の電源が入っているか確認してください。
- USB ハブを通して USB 機器をつないでいる場合、本機に直接 USB 機器をつないでみてください。

インターネットストリーミング

画質または音質が悪い。動きが速いシーンまたは暗いシーンなどで、画面の細部が見えない。

- 画質または音質は、通信速度を変更することで改善する場合があります。標準画質の映像を再生するには 2.5Mbps 以上、ハイビジョンの映像を再生するには 10Mbps 以上の通信速度をおすすめします。

インターネットストリーミング中はオプションメニューはありません。

- インターネットストリーミング中はオプションメニューをご使用いただけません。

ネットワーク接続

本機がネットワークにつながらない。

- ネットワークの接続を確認し (15 ページ)、設定を確認してください (30 ページ)。

[Wi-Fi Protected Setup™ (WPS)] を行ったあと、コンピューターがインターネットにつながらない。

- ルーターを調整する前に WPS (プッシュボタン方式) を使用した場合、ルーターの無線 LAN 設定が自動的に変わる場合があります。この場合、お使いのパソコンの無線 LAN 設定を変更してください。

本機を無線 LAN ルーターに接続できない。

- 無線 LAN ルーターの電源が入っているか確認してください。
- 壁材や電波の受信状況、本機と無線 LAN ルーターのとの間の遮蔽物など、周囲の環境により通信距離が短くなることがあります。本機と無線 LAN ルーターを近づけてください。
- 電子レンジ、Bluetooth またはデジタルコードレス機器など、2.4 GHz の周波数帯を使用する機器により通信が妨げられる場合があります。これらの機器から本機を遠ざけるか、これらの機器の電源を切ってください。

ご希望の無線 LAN ルーターが無線 LAN ネットワークリストに表示されません。

- 戻るボタンを押してひとつ前の画面に戻り、もう一度無線 LAN 設定を行ってください。それでもご希望の無線 LAN ルーターが検出されない場合は、[新しい接続先の登録] を選んで [手動登録] を行ってください。

本機の電源を入れると、[ネットワーク上に新しいソフトウェアバージョンが見つかりました。] からアップデートを行ってください。というメッセージが表示される。

- 新しいソフトウェアバージョンに更新するため、[ソフトウェアアップデート] (24 ページ) をご覧ください。

Bluetooth 接続

Bluetooth 接続ができない/完了しない。

- [Bluetooth モード] を [入] に設定してください (27 ページ)。
- 接続しようとしている Bluetooth 機器の電源が入っていること、Bluetooth 機能が有効になっていることを確認してください。
- Bluetooth 機器を本機に近づけてください。

- もう一度本機と Bluetooth 機器を接続してください。最初に Bluetooth 機器を使って本機との接続を解除しなくてはならない場合もあります。
- 機器リストおよび接続した機器からペアリング情報を削除し、もう一度接続を試してください。
- 本機の近くに他の Bluetooth 機器があるときは接続できないこともあります。その場合は、他の Bluetooth 機器の電源を切ってください。
- 接続登録情報が消えている場合があります。もう一度ペアリング操作を行ってください。

音が出ない、音が途切れたりゆれる、接続が切れる。

- Bluetooth 機器を本機に近づけてください。
- 本機が Wi-Fi ネットワーク、その他 2.4 GHz ワイヤレス機器または電子レンジの干渉を受けていないか確認してください。
- 本機と Bluetooth 機器を正しく接続しているかどうか確認してください。
- もう一度本機と Bluetooth 機器を接続してください。
- 本機を金属製のものや表面から遠ざけてください。

HDMI 機器制御 (ブラビアリンク)

[HDMI 機器制御] 機能が働かない (ブラビアリンク)。

- [HDMI 機器制御設定] の [HDMI 機器制御] が [入] になっているか確認してください (29 ページ)。
- HDMI 接続を変更したときは、本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。
- 停電があったときは、[HDMI 機器制御設定] の [HDMI 機器制御] を一度 [切] にし、その後 [入] に再設定してください (29 ページ)。

- ➔ 以下を確認してください。
 - 接続機器が [HDMI 機器制御] 機能に対応している。
 - 接続機器の [HDMI 機器制御] 機能の設定が正しい。
- ➔ AV アンプを通して本機にテレビをつないでいるとき、
 - [HDMI 機器制御] に対応していない AV アンプを通してテレビにつながると、正しく機能が働かない場合があります。
 - HDMI 接続を変更したり、電源コードを抜き差ししたり、停電があったりした場合、以下を試してください。① 本機の再生映像がテレビに映るように AV アンプ (受信機) の入力を切り換えてください。② [HDMI 機器制御設定] の [HDMI 機器制御] を一度 [切] にし、その後 [入] に設定してください (29 ページ)。お使いの AV アンプ (受信機) の取扱説明書もご覧ください。

電源切連動が働かない (ブラビアリンク)。

- ➔ [HDMI 機器制御設定] の [HDMI 機器制御] が [入] かつ [テレビ電源オフ連動] が [有効] になっているか確認してください (29 ページ)。

その他

再生が最初から始まらない。

- ➔ オプションボタンを押して、[はじめから再生] を選んでください。

再生が前回停止した位置から始まらない。

- ➔ 以下の場合、ディスクによってはつづき再生が解除されます。
 - ディスクトレイを開けたとき
 - USB 機器を取りはずしたとき
 - ほかのコンテンツを再生したとき
 - 本機の電源を切ったとき

ディスクを再生したときに、コード 1 [再生を停止しました。このタイトルは Cinavia で保護されているため本機での再生が禁止されています。詳しい情報は、<http://www.cinavia.com> をご覧ください。コード : 1] というメッセージが画面に表示される。

- ➔ 再生中の動画の音声トラックには、業務用設備による上映のみを対象とし、消費者による再生が許可されていないことを示す Cinavia コードが含まれています (8 ページ)。

本体の ▲ (開 / 閉) ボタンを押してもディスクトレイが開かない。

- ➔ チャイルドロック機能により、ディスクトレイがロックされている可能性があります。解除するには、本機の電源が入った状態で、リモコンの ■ 停止ボタン、ホームボタン、トップメニューボタンの順に押してください (11 ページ)。
- ➔ 以下を試してください。① 電源を切って AC 電源コードを抜いてください。② 本体の ▲ (開 / 閉) ボタンを押しながら AC 電源コードをつなぎ直してください。③ ディスクトレイが開いたら ▲ (開 / 閉) ボタンをはなしてください。④ ディスクを取り出してください。⑤ AC 電源コードを抜いて、つなぎ直すと、本機が再起動します。

▲ (開 / 閉) ボタンを押すと、[トレイがロックされています。] というメッセージが画面に表示される。

- ➔ お近くのソニー製品取扱店か、正規ソニーサービス窓口にご相談ください。

本機が正常に動作しない。

- ➔ 本機の内部が結露していることがあります。結露がなくなるまで、そのまま放置してください (7 ページ)。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や映像方式の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 記録内容（コンテンツ）については、保証の対象外です。
- 当社にて記録内容（コンテンツ）の修復、復元、複製などはいりません。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな?と思ったら」の項を参考にし、故障かどうかを点検してください。

それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口へ

ソニーの相談窓口（裏表紙）へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：BDP-S6700
- ディスクの種類：BD-ROM、DVDビデオ、BD-RE、BD-R、DVD-RW、DVD-R など
- つないでいるテレビやAVアンプのメーカーと型名
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではブルーレイディスク/DVDプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。

ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

システム

形式：ブルーレイディスク／
DVD プレーヤー

入力／出力端子

(端子名：端子の種類／出力レベル／負荷インピーダンス)

デジタル音声出力 (同軸)：
ピンジャック／0.5 Vp-p / 75 Ω

HDMI 出力：
19 ピン標準コネクター

LAN (100) 端子：
100BASE-TX

USB 端子：
A タイプ (USB メモリー、メモリーカードリーダー、デジタルスチルカメラ、およびデジタルビデオカメラ接続用) *

* 充電に使用しないでください。

DC IN：
12 V DC、850 mA

無線 LAN

無線 LAN 規格：
プロトコル IEEE 802.11 a/b/g/n

周波数帯：
2.4 GHz、5 GHz 帯

変調方式：
DSSS および OFDM

Bluetooth バージョン：Bluetooth 標準規格 Ver. 4.1

Bluetooth

通信方式：
Bluetooth 標準規格 Ver. 4.1
出力：
Bluetooth 標準規格 Power Class 1
最大通信距離：
見通し距離 約 30 m
使用周波数帯域：2.4 GHz
変調方法：FHSS
対応 Bluetooth プロファイル：
A2DP v1.2、AVRCP v1.3
対応コーデック：SBC、AAC、LDAC

伝送帯域 (A2DP)
• 20 Hz ~ 40,000 Hz (LDAC 96kHz サンプルング、990kbps 時)
• 20 Hz - 20,000 Hz (44.1kHz サンプルング時)

電源・その他

電源：
12 V DC (AC アダプター)
定格入力：AC100 V、
50/60 Hz
消費電力 (AC アダプター使用時)：
12 W
最大外形寸法：
255 mm × 39 mm × 192 mm
(幅×高さ×奥行き) 最大突起含む

本体質量：
約 0.9 kg
許容動作温度：
5 °C ~ 35 °C
許容動作湿度：
25 % ~ 80 %

付属品

- リモコン (1 個)
- 単 4 形 (R03) 乾電池 (2 個)
- AC アダプター (AC-L1210WW) (1 個)
- AC 電源コード (1 本)
- 取扱説明書 (本書) (1 部)
- 保証書 (1 部)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

再生できるディスク

BD*1	BD-ROM BD-R*2/BD-RE*2
DVD*3	DVD-ROM DVD-R/DVD-RW DVD+R/DVD+RW
CD	CD-DA (音楽 CD) CD-ROM CD-R/CD-RW スーパーオーディオ CD

*1 BD は新しい規格で日々進化を続けているため、ディスクの種類やバージョンによっては再生できない場合があります。

音源や出力端子、音声設定などにより出力される音質が異なります。

*2 本製品は Ver.2.1 の BD-RE、Ver.1.1、Ver.1.2 および Ver.1.3 の BD-R (LTH を含む) に対応しています。
パソコンで記録した BD-R を本機で再生するには、追記不可能な状態で書き込まれている必要があります。

*3 AVCREC 方式や HD Rec 規格で記録された DVD は再生できません。

再生できないディスク

- カートリッジ型 BD
- BDXL
- DVD-RAM
- HD DVD
- DVD オーディオ
- フォト CD
- CD EXTRA のデータ部分
- スーパー VCD
- DualDisc の音楽専用面
- 本機の映像方式 (NTSC) と異なる映像方式 (PAL など) で記録されたディスク

ディスクについてのご注意

本機は、コンパクトディスク (CD) 規格に準拠したディスクの再生を前提として設計されています。DualDisc 及び著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクはコンパクトディスク (CD) 規格に準拠していないことから、本製品では再生できない場合があります。


BD/DVD 再生時の操作について

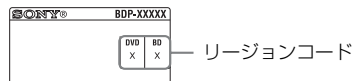
BD/DVD 再生時の操作は、ソフトウェアで決められている場合があります。本機は BD/DVD のソフトウェアにしたがって再生するため、いくつかの機能が使えないことがあります。

2 層 BD や 2 層 DVD の再生について

レイヤー (層) が切り換わる時に映像および音声が一瞬途切れることがあります。

リージョンコードについて (BD-ROM/DVD ビデオのみ)

本機は、本体下部のラベルに記載されたものと同じリージョンコードの BD-ROM/DVD ビデオのみ再生できます。また、 が付いている DVD ビデオも再生できます。



映像方式 (カラーシステム) について

本機が出力できる映像方式は NTSC 方式です。同じリージョンコードでも、PAL 方式で記録されている映像は出力できません。

レコーダーやパソコンで記録した CD または DVD について

本機で再生するには、終了情報を記録するファイナライズ処理がされていることが必要です。詳しくは、記録した機器の取り扱い説明書をご覧ください。

再生できるファイルの種類

ビデオ

フォーマット	コンテナ	拡張子	音声付
MPEG-1 Video*1	PS	.mpg, .mpeg	Dolby Digital, DTS, LPCM, MPEG
	MKV	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
MPEG-2 Video*2	PS*3	.mpg, .mpeg	Dolby Digital, DTS, LPCM, MPEG
	TS*4	.m2ts, .mts	Dolby Digital, DTS, LPCM, MPEG, AAC
	MKV*1	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
Xvid	AVI	.avi	Dolby Digital, LPCM, WMA9, MP3
	MKV	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
MPEG4/AVC*5	MKV*1	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
	MP4*1	.mp4, .m4v	AAC
	TS*1	.m2ts, .mts	Dolby Digital, DTS, LPCM, MPEG, AAC
	Quick Time*6	.mov	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3
	FLV*6	.flv, .f4v	LPCM, AAC, MP3
	3gpp/ 3gpp2*6	.3gp, .3g2, .3gpp, .3gp2	AAC
VC1*1	TS	.m2ts, .mts	Dolby Digital, DTS, LPCM, MPEG, AAC
	MKV	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
WMV9*1*7	ASF	.wmv, .asf	WMA9, WMA 10 Pro
	MKV	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
Motion JPEG*6	Quick Time	.mov	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3
	AVI	.avi	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3

フォーマット

AVCHD (Ver.2.0)*1*8*9*10

ミュージック

フォーマット	拡張子
MP3 (MPEG-1 Audio Layer III)* ¹¹	.mp3
AAC/HE-AAC* ¹ * ¹¹	.m4a, .aac* ⁶
WMA9 Standard* ¹	.wma
WMA 10 Pro* ¹²	.wma
LPCM* ¹¹	.wav
FLAC* ¹	.flac, .fla
Dolby Digital* ⁶ * ¹¹	.ac3
DSF* ¹	.dsf
DSDIFF* ¹ * ¹³	.dff
AIFF* ¹	.aiff, .aif
ALAC* ¹	.m4a
Vorbis	.ogg
Monkey's Audio	.ape

フォト

フォーマット	拡張子
JPEG	.jpeg, .jpg, .jpe
PNG	.png* ¹⁴
GIF	.gif* ¹⁴
MPO	.mpo* ⁶ * ¹⁵
BMP	.bmp* ⁶ * ¹⁶

*¹ 本機は、DLNA サーバー上にあるこのフォーマットを再生できない場合があります。

*² DLNA サーバー上にあるビデオは標準画質の映像のみ再生できます。

*³ 本機は、DLNA サーバー上にある DTS ファイルを再生できません。

*⁴ 本機は、DLNA サーバー上にある Dolby Digital ファイルのみ再生できます。

*⁵ 本機はレベル 4.1 までの MPEG4/MPEG-4 AVC フォーマットに対応しています。

*⁶ 本機は、DLNA サーバー上にあるこのフォーマットを再生できません。

*⁷ 本機は Advance Profile までの WMV9 フォーマットに対応しています。

*⁸ 本機は60fpsまでのAVCHDフォーマットに対応しています。

*⁹ 本機はデジタルビデオカメラなどで記録された AVCHD 規格の映像を再生できます。AVCHD 規格で記録されたディスクを再生するには、正しくファイナライズ処理がされていることが必要です。

*¹⁰ 本機は、AVCHD 3D フォーマットを再生できません。

*¹¹ 本機は「.mka」ファイルを再生できません。このファイルは DLNA サーバー上では再生できません。

*¹² 本機は、ロスレスなどでエンコードされたファイルは再生できません。

*¹³ 本機は、DST エンコードされたファイルは再生しません。

*¹⁴ アニメーション PNG またはアニメーション GIF ファイルは再生できません。

*¹⁵ 3D 以外の MPO ファイルは、キー画像または最初の画像が表示されます。

*¹⁶ 本機は、16 ビット BMP ファイルに対応していません。



- ファイルのフォーマットや圧縮状況、録画状態、または DLNA サーバーの状態によって再生できないことがあります。
- パソコンで記録や編集したファイルは再生できないことがあります。
- ファイルによっては、早送りまたは早戻しができないことがあります。
- 本機は、DRM などでもエンコードされたファイルは再生できません。
- 本機は BD/DVD/CD または USB 機器内の、以下のファイルおよびフォルダーを認識します：
 - ルートフォルダーを含め、9 階層目までのフォルダー
 - 1 つの階層にある 500 番目までのファイル
- 本機は DLNA サーバー内の、以下のファイルおよびフォルダーを認識します：
 - 19 階層目までのフォルダー
 - 1 つの階層にある 999 番目までのファイル/フォルダー
- 本機は、以下のフレームレートに対応しています。
 - AVCHD (MPEG4/AVC) は 60fps 以下
 - 他のビデオコーデックは 30fps 以下
- 本機は、40Mbps までのビットレートに対応しています。
- USB 機器によっては、本機で再生できないことがあります。
- 本機は、マスタストレージクラス (MSC) 機器 (フラッシュメモリーやハードディスクドライブなど)、静止画像キャプチャデバイスクラス (SICD) 機器、および 101 キーボードを認識します。
- データの破損や消滅を防ぐために、USB メモリーや USB 機器を抜き差しするときは、本機の電源を切ってください。
- データCD上の高ビットレートのビデオファイルは、なめらかに再生できないことがあります。データ DVD またはデータ BD 上で再生することをおすすめします。

本機の無線通信について

本製品の使用周波数は 2.4 GHz/5 GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4 DS/OF4

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS 方式及び OFDM 方式を採用し、与干渉距離は 40m 以下です。

2.4FH8

この無線機器は 2.4 GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 80 m です。

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n

~~J52~~

W52

W53

W56

IEEE 802.11a/b/g/n 準拠 (W52/W53/W56)

電波法に基づく認証について

本機に内蔵された無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機に内蔵の無線装置を分解／改造すること
- 本機に内蔵の無線装置に貼ってある証明ラベルをはがすこと

無線 LAN のセキュリティについて

無線 LAN による通信は、電波を利用して行われるため、通信内容を傍受されるおそれがあります。無線通信を保護するために、本機はさまざまなセキュリティ機能に対応しています。接続環境に応じて正しくセキュリティ対策をしてください。

セキュリティ対策を施さず、あるいは無線 LAN 機能の使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

◆セキュリティなし

簡単に設定できますが、特別なツールなどを使わずに誰でも無線電波を受信し、ネットワークに侵入できてしまいます。不正アクセスや通信内容の傍受をされるおそれがあります。

◆WEP

WEP は、通信を暗号化することで、第三者に通信を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりするのを防止します。解読法の知られている古いセキュリティ技術のため、TKIP/AES に対応していない機器をつなぐときのみ、お使いください。

◆WPA-PSK (TKIP)、WPA2-PSK (TKIP)

TKIP は WEP の脆弱性対策を施したセキュリティ技術です。WEP より高度なセキュリティが実現されます。

◆WPA-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES)

AES は、WEP と TKIP とは異なる高度な暗号化方式を使ったセキュリティ技術です。

WEP や TKIP より高度なセキュリティが実現されます。

ディスクの取り扱い上のご注意

- 再生面に手を触れないように持ちます。
- 直射日光が当たる所など温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔かい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔かい布で拭いた後、さらに乾いた柔かい布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- ディスクにラベル印刷した場合は、印刷が乾いてから再生してください。
- 次のようなディスクを使用すると本機の故障の原因となることがあります。
 - 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型、星型など）をしたディスク
 - 紙やシールの貼られたディスク
 - セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク
- ディスク読み取り面の傷を取るために磨いたり削ったりしないでください。



その他

言語コード一覧

詳しくは、[BD/DVD 視聴設定]
(27 ページ) をご覧ください。
言語名表記は ISO639 : 1988 (E/F) に
準拠しています。

コード 言語

1027	Afar	1261	Japanese
1028	Abkhazian	1269	Yiddish
1032	Afrikaans	1283	Javanese
1039	Amharic	1287	Georgian
1044	Arabic	1297	Kazakh
1045	Assamese	1298	Greenlandic;
1051	Aymara		Kalaallisut
1052	Azerbaijani	1299	Cambodian;
1053	Bashkir		Khmer
1057	Byelorussian	1300	Kannada
1059	Bulgarian	1301	Korean
1060	Bihari	1305	Kashmiri
1061	Bislama	1307	Kurdish
1066	Bengali	1311	Kirghiz
1067	Tibetan	1313	Latin
1070	Breton	1326	Lingala
1079	Catalan	1327	Laothian; Lao
1093	Corsican	1332	Lithuanian
1097	Czech	1334	Latvian
1103	Welsh	1345	Malagasy
1105	Danish	1347	Maori
1109	German	1349	Macedonian
1130	Bhutani;	1350	Malayalam
	Dzongkha	1352	Mongolian
1142	Greek	1353	Moldavian
1144	English	1356	Marathi
1145	Esperanto	1357	Malay
1149	Spanish	1358	Maltese; Maltese
1150	Estonian	1363	Burmese
1151	Basque	1365	Nauru
1157	Persian	1369	Nepali
1165	Finnish	1376	Dutch
1166	Fiji	1379	Norwegian
1171	Faroese	1393	Occitan
1174	French	1403	Oromo
1181	Frisian	1408	Oriya
1183	Irish	1417	Punjabi; Panjabi
1186	Scots Gaelic	1428	Polish
1194	Galician	1435	Pashto; Pushto
1196	Guarani	1436	Portuguese
1203	Gujarati	1463	Quechua
1209	Hausa	1481	Rhaeto-
1217	Hindi		Romance
1226	Croatian	1482	Kirundi; Rundi
1229	Hungarian	1483	Romanian
1233	Armenian	1489	Russian
1235	Interlingua	1491	Kinyarwanda
1239	Interlingue	1495	Sanskrit
1245	Inupiak	1498	Sindhi
1248	Indonesian	1501	Sangho; Sango
1253	Icelandic		
1254	Italian		
1257	Hebrew		

コード 言語

1502	Serbo-Croatian	1531	Turkmen
1503	Singhalese;	1532	Tagalog
	Sinhalese	1534	Setswana;
			Tswana
1505	Slovak		
1506	Slovenian	1535	Tonga; Tonga
1507	Samoan		islands
1508	Shona	1538	Turkish
1509	Somali	1539	Tsonga
1511	Albanian	1540	Tatar
1512	Serbian	1543	Twi
1513	Siswati; Swati	1557	Ukrainian
1514	Sesotho;	1564	Urdu
	Sotho southern	1572	Uzbek
1515	Sundanese	1581	Vietnamese
1516	Swedish	1587	Volapük
1517	Swahili	1613	Wolof
1521	Tamil	1632	Xhosa
1525	Telugu	1665	Yoruba
1527	Tajik	1684	Chinese
1528	Thai	1697	Zulu
1529	Tigrinya	1703	無指定

視聴年齢制限／地域コード

詳しくは、[視聴年齢制限使用地域]
(28 ページ) をご覧ください。

コード、地域

2044	Argentina	2333	Luxembourg
2047	Australia	2363	Malaysia
2046	Austria	2362	Mexico
2057	Belgium	2376	Netherlands
2070	Brazil	2390	New Zealand
2090	Chile	2379	Norway
2092	China	2427	Pakistan
2093	Colombia	2424	Philippines
2115	Denmark	2428	Poland
2165	Finland	2436	Portugal
2174	France	2489	Russia
2109	Germany	2501	Singapore
2200	Greece	2149	Spain
2219	Hong Kong	2499	Sweden
2248	India	2086	Switzerland
2238	Indonesia	2543	Taiwan
2239	Ireland	2528	Thailand
2254	Italy	2184	United Kingdom
2276	Japan		
2304	Korea		

索引

あ行

アップデート	24
[映像設定]	24
映像方式	32、37
オプション	12、22
音声切換	13
[音声設定]	26

か行

画面表示	13、18
カラーシステム	37
カラーボタン	12
かんたん設定	15
[高速起動モード]	29
故障かな?と思ったら	31

さ行

再生情報	18
再生できるディスク	37
視聴年齢制限	28
[視聴年齢制限設定]	28
自動電源オフ	29
字幕切換	13
接続する	
テレビ	14
ネットワーク	15
AV アンプ	14
[設定]	24
[設定初期化]	30
[ソフトウェアアップ デート]	24

た行

チャイルドロック	11
[通信設定]	30
つづき再生	13、34
[テレビタイプ]	24
テレビ電源オフ連動	29
電源オフ連動	29
トップメニュー	12

は行

ビットストリーム	31
ファイナライズ	32、37
ブラビアリンク	33
ブルーレイディスク	37
ホーム	12
ホーム画面	16
ポップアップ/	
メニュー	12
[本体設定]	29

ま行

[ミュージック設定]	28
------------	----

ら行

リージョンコード	37
リピート設定	22
リモコン	12

わ行

ワンタッチプレイ	29
----------	----

数字

3D	18
[3D 出力設定]	24
[3D テレビ画面サイズ 設定]	24

アルファベット

BD-LIVE	17
BD-R	37
BD-RE	37
[BD/DVD 視聴設定]	27
BONUSVIEW	17
Deep Color	25
DLNA	19、30
[DSD Output モード]	26
HDMI	25
[HDMI 機器制御]	29、33
[IP コンテンツ NR プロ]	26
MAC アドレス	29

USB	19
WEP	41
WPA2-PSK (AES)	41
WPA2-PSK (TKIP)	41
WPA-PSK (AES)	41
WPA-PSK (TKIP)	41

ブルーレイディスク/DVD プレーヤーホームページ

本機に関するさまざまな情報を確認できます。

操作情報などについて知りたいときは、以下のホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/bd-player/>

本体ソフトウェアのアップデートについて

本体ソフトウェアは、機能向上のため、アップデートされる可能性があります。

アップデートの情報については、以下のホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/bd-player/>

「Q&A」ホームページ

お客様からよくあるお問い合わせと解決法に関する情報を、以下のホームページで確認できます。

<https://www.sony.jp/support/faq.html>

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<https://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………… **0120-333-020**

携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル…………… **0120-222-330**

携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9599**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。



左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に

「103」+「#」

を押してください。

直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX(共通) **0120-333-389**

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Model Name(型名) : BDP-S6700

※ SerialNo(S/N) を控えて頂けると、万が一の問い合わせ時に早い対応につながる場合があります。
S/N _____



HDMI



4-579-665-03(1)

